

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

<編集発行>

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
自宅 042-795-7361  
FAX 042-795-2726  
yoshidaben@gmail.com



## 協同労働による実業創出

協同労働というものは、「出資・経営・労働が三位一体にした働き方で地域住民が主体的に参画しながら多様な地域課題を事業化することで解決を図り、持続可能で活力ある地域社会を実現に資するもの」と定義されています。一般の企業と異なり、個人が各々資本を出し、経営に参画し、自らも働くという事業のやり方であり、ヨーロッパ、特に南欧には以前からある事業形態ですが、日本ではまだなじみが少ないものです。



日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会事務局を、研修生と共に訪問した際の写真。

本年10月からその法律(労働者協同組合法)が施行されますが、NPO法人と大きな違いは、参加者による出資ができる点があり、経営にも参画して責任が生じます。従来は、NPO法人や有志によって運営されてきた、小規模のサービス事業をメインに、地域を多角的にバックアップする様々な事業展開が予想されるものです。今後、基礎自治体(町田市など)との結びつき、連携が広がるでしょう。

## つがる市と町田シルクメロン

縁があって、「青森県つがる市東京事務所」を訪問しました。人口約3万人、職員数約300人、東京事務所3名の専従職員という比率と聞きました。その人口規模の都市が単独で東京事務所を出すだけで珍しい上に、職員の1%がその都市と名産品のPR、そして東京での情報収集に当たっておられるわけです。地方都市の意気込みを感じました。

青森県と言うと、まずリンゴが名産品ですが、このつがる市は全国3位のメロンの産地であるそうです。その話を聞いたのは、つがる市職員の方々が、水耕栽培方式の町田シルクメロンの情報を得て、その月一開催の現地見学会に来られた際でした。私もその日に農学部の子生インターンを同行して、参加していました。ことメロンにかけては、様々にアンテナを張って、東京事務所を起点に各地に向かわれているようでした。

私は、地方都市の東京事務所とはどういう機能を持っているのか、それが地元の産業振興にどのように反映されるかということに興味を持ち、この事務所を何度か訪れている次第です。(次号に続く)



事務所で、リンゴジュース(100%)を頂く

◎所属会派の名称はシンプルに「無所属」とし、3名の議員で構成しています。

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしています



若い世代の育成に全力をささげる  
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは  
左記を読込  
して送信



好評インターンシップは、間もなく第50期生がスタート

## インターン体験記③上野竜空

今回は町田市民フォーラム内にある、「町田市社会福祉協議会」と「町田市地域活動サポートオフィス」に伺いました。

前者ではまず設立の理念をご説明いただき、特定の誰かではなく、市民を支える土台である「まち」づくりに取り組まれていることを知りました。具体的には、中高生の塾の受講料や受験料に無利子で貸し付けを行う「受験生チャレンジ支援貸付事業」(世帯所得条件あり)や学生が悩み事を相談できる「ここなび」から、社会福祉活動まで、多岐に渡って活動しているようです。



後者に関して、地域課題に対して挑戦する企業や団体の中間支援団体としての役割を担っているようですが、その取り組みの一環として「コロナ禍にあっても市内で活動する団体が集まる場を作りたい」という思いから発行されている「「まちカフェ！」協働ガイドブック」の存在を教えてくださいました。本書内では約80の賛同団体が紹介されており、どの団体も課題解決意識やパーパスを持って長期的な挑戦をされている様子でした。町田市民のみならず、多くの方に手に取っていただきたいガイドブックです。(「まちカフェ! 東京」で検索)

以上2団体に参りましたが、両者とも市役所等の行政機関ではないため、「顕在化し始めた需要に対して比較的即座に対応できる」などの共通項を見出すことができました。

しかしながら「知名度向上」に関しては難しさを抱えているように感じました。経済的な予算の中で、多くの方へサービスが行き届けるためにいかに認知を広げるか、大きな期待を寄せております。

## インターン体験記④上野竜空

「果房 メロンとロマン」。より多くの人にメロンを愛してもらうために作られた、ちょっとユニークな名前のメロン工房では、主にメロンを使ったスイーツや料理を味わうことができます。実はこのお店は、青森県つがる市により運営されています。「青森県」「つがる市」と聞くと「りんご」を連想される方も多いと思いますが、「メロン」も負けていません。例えば、つがる市には「プレミアムメロン」というメロンがあり、これは糖度17度以上、大きさなどの基準をクリアした収穫量全体の2%程度しかないメロンだそうです。メロンは、実りのシーズンがあります。

また今回は「果房 メロンとロマン。」階上、「青森県つがる市東京事務所」でつがる市職員の方からお話を伺っていたのですが、人口約3万人規模の市が都心部に事務所を出す例は多くないので、その「つがる市」の魅力を伝える、その「本気度」が伝わります。ご存知ない方も意外に多いのではないかと、と思いますが、つがる市は有名な「遮光器土偶」が出土した亀ヶ岡石器時代遺跡があり、日本史においても重要な地であることが分かりました。



◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年4月末より50期生が研修を開始しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。

◎次期インターンシップの第50期生となりますが、現在、1名参加中、他にも受付中です。